

<ジーコム独自調査レポート No.120>

# 福岡県居住者の暮らし向きに関する調査

2019年1月

# 調査概要

## 1. 調査方法

弊社アンケートモニター「コムネット」登録者に対するインターネット調査

## 2. 調査対象

福岡県在住の20歳以上の男女

## 3. 調査時期

2018年12月7日（金）～12月14日（金）

## 4. 調査規模

460サンプル

【標本構成】

■性	件数	構成比(%)
男性	218	47.4
女性	242	52.6
全体	460	100.0

■年齢	件数	構成比(%)
20代	60	13.0
30代	100	21.7
40代	100	21.7
50代	100	21.7
60代以上	100	21.7
全体	460	100.0

■未既婚	件数	構成比(%)
未婚	132	28.7
既婚	328	71.3
全体	460	100.0

■職業	件数	構成比(%)
会社員	150	32.6
公務員	19	4.1
団体職員・病院勤務	13	2.8
経営者・会社役員	8	1.7
派遣社員・契約社員	24	5.2
商工自営	25	5.4
農林漁業	0	0.0
学生	4	0.9
パート・アルバイト	60	13.0
主婦(主夫)専業	105	22.8
無職	47	10.2
その他	5	1.1
全体	460	100.0

■居住地	件数	構成比(%)
福岡市	265	57.6
福岡市以外都市圏	95	20.7
その他福岡県	100	21.7
全体	460	100.0

■世帯年収	件数	構成比(%)
200万円未満	35	7.7
200～300万円未満	45	9.9
300～400万円未満	65	14.3
400～500万円未満	69	15.1
500～600万円未満	52	11.4
600～700万円未満	25	5.5
700～800万円未満	40	8.8
800～900万円未満	19	4.2
900～1000万円未満	17	3.7
1000～1500万円未満	26	5.7
1500万円以上	5	1.1
わからない	58	12.7
全体	456	100.0

\* 学生を除く

### 【報告書の見方】

- 本文及び図中に示した調査結果の数値は小数点以下第2位を四捨五入しているため、全項目の回答比率の合計が100.0%とならない場合や合計値に誤差が生じる場合がある。
- 複数の回答を求めた質問では、回答比率の合計が100.0%を超えることがある。
- 報告書中の図表では、コンピューター入力の場合、回答選択肢の表現を短縮している場合がある。

# 1. 暮らし向きの変化

暮らし向き判断指数は、プラスを維持するも、前年から減少。年代間での差が大きく広がる。

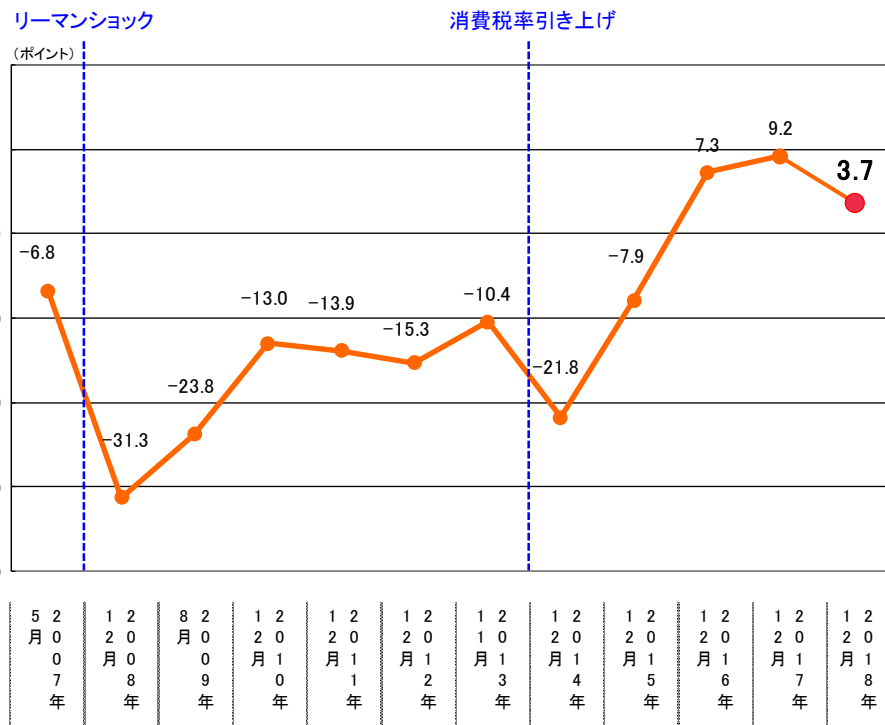
1年前と比べ暮らし向きが「良くなった」「どちらかという良くなった」と回答した割合から、「悪くなった」「どちらかという悪くなった」と回答した割合を減じた『暮らし向き判断指数』は、3.7ポイントで、前年から減少した。

- ・性別で見ると、女性は暮らし向き判断指数が男性と比べて高い。
- ・年代別で見ると、年代が上がるにつれて暮らし向き判断指数は低くなり、40代を超えるとマイナスになる。20代と60代以上とでは、60ポイント以上の開きがある。
- ・世帯年収別で見ると、500～700万円未満の層は暮らし向き判断指数が他の層に比べて高い。

◆ 1年前と比べた暮らし向きの変化【単一回答】

	調査数	【%】					【%】		【ポイント】	
		良くなった	良どちらかという	どちともいえない	悪どちらかという	悪くなった	肯定層	否定層	暮らし向き判断指数	暮らし向き判断指数
全体	460	6.1	18.5	54.6	15.4	5.4	24.6	20.9	3.7	9.2
性別										
男性	218	3.2	16.5	55.0	19.3	6.0	19.7	25.2	-5.5	9.3
女性	242	8.7	20.2	54.1	12.0	5.0	28.9	16.9	12.0	9.1
年代別										
20代	60	20.0	33.3	38.3	5.0	3.3	53.3	8.3	45.0	30.3
30代	100	10.0	28.0	42.0	14.0	6.0	38.0	20.0	18.0	14.5
40代	100	1.0	16.0	59.0	18.0	6.0	17.0	24.0	-7.0	12.6
50代	100	3.0	15.0	63.0	13.0	6.0	18.0	19.0	-1.0	2.4
60代以上	100	2.0	6.0	64.0	23.0	5.0	8.0	28.0	-20.0	-8.1
世帯年収別										
300万円未満	80	3.8	22.5	48.8	16.3	8.8	26.3	25.0	1.3	3.7
300～500万円未満	134	3.7	17.9	51.5	19.4	7.5	21.6	26.9	-5.2	7.2
500～700万円未満	77	10.4	27.3	46.8	11.7	3.9	37.7	15.6	22.1	10.0
700～900万円未満	59	8.5	13.6	61.0	15.3	1.7	22.0	16.9	5.1	16.3
900万円以上	48	8.3	12.5	64.6	10.4	4.2	20.8	14.6	6.3	28.2

◆ 暮らし向き判断指数の推移



\* 肯定層＝「良くなった」+「どちらかという良くなった」  
 否定層＝「悪くなった」+「どちらかという悪くなった」  
 暮らし向き判断指数＝肯定層－否定層

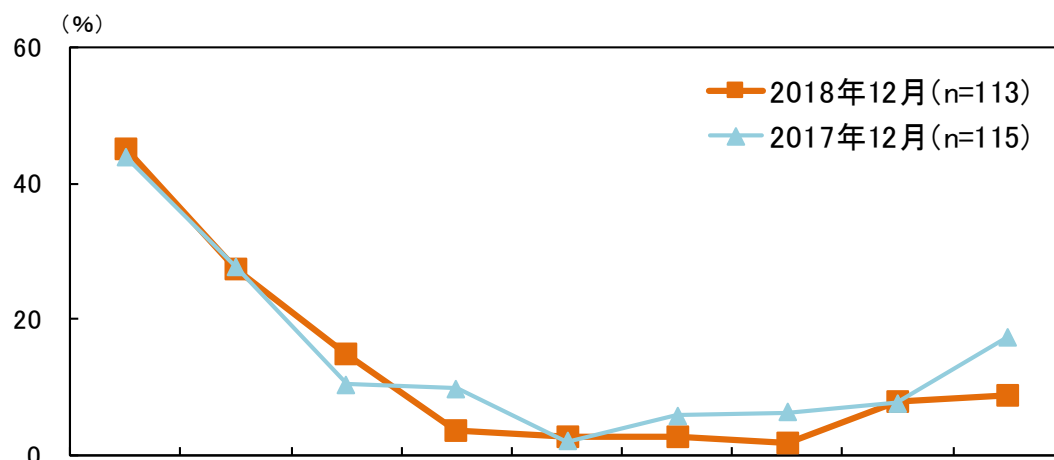
## 2. 暮らし向きが良くなった理由 ※暮らし向き肯定層限定

暮らし向きが良くなった理由は、前年から上位は変わらず、「世帯主の収入増」がトップ。「共働き」の割合が微増している。

1年前と比べて、暮らし向きが「良くなった」「どちらかという良くなった」と回答した人にその理由を聞いたところ、「世帯主の収入が増えたから」の割合が45.1%で最も高く、次いで「節約して支出を減らしたから」27.4%、「共働きするようになったから」15.0%の順であった。

・サンプル数が少ないため、属性別の分析は省略した。

◆暮らし向きが良くなった理由【複数回答】



調査数	から世帯主の収入が増えた	節約して支出を減らした	共働きするようになった	から世帯主が副業を始めた	同居している子どもが社会人になった	住宅などのローンの支払いが終わった	同居家族の人数が減った	その他	特にない・わからない	
2018年12月	113	45.1	27.4	15.0	3.5	2.7	2.7	1.8	8.0	8.8
2017年12月	115	43.9	27.6	10.4	9.8	2.0	5.8	6.3	7.7	17.5

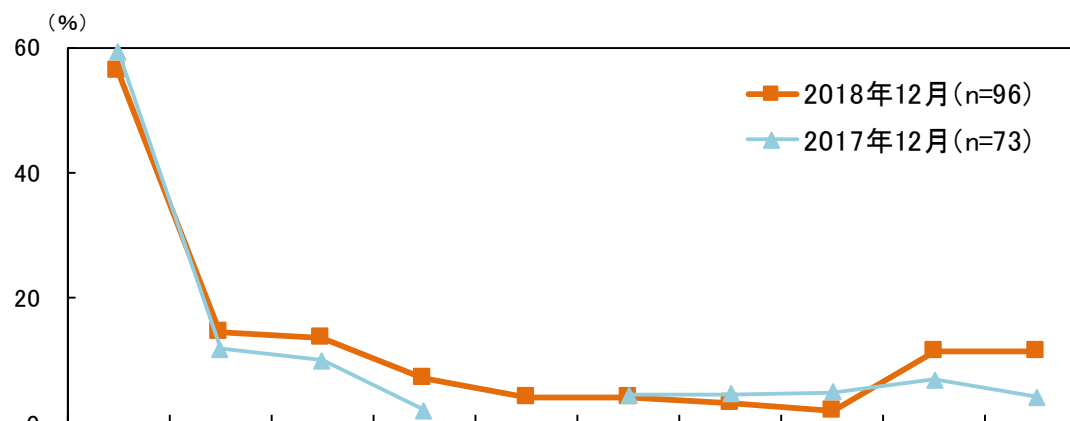
### 3. 暮らし向きが悪くなった理由 ※暮らし向き否定層限定

暮らし向き悪化の理由は、「教育費」や「治療費」、「ローン」など支出を理由とする項目が前年から微増している。

1年前と比べて、暮らし向きが「悪くなった」「どちらかという悪くなった」と回答した人にその理由を聞いたところ、「世帯主の収入が減ったから」の割合が56.3%で最も高く、次いで「教育費が増えたから」14.6%、「家族の病気治療や介護が必要になったため」13.5%の順であった。

・サンプル数が少ないため、属性別の分析は省略した。

◆暮らし向きが悪くなった理由【複数回答】



調査数	世帯主の収入が減ったから	教育費が増えたから	家族の病気治療や介護が必要になったため	住宅などのローンの支払いが始まった(増えた)から	世帯主が副業をやめたから	同居家族の人数が増えたから	別居している家族への仕送りが必要になったから	共働きをやめたから	その他	特にない・わからない	
2018年12月	96	56.3	14.6	13.5	7.3	4.2	4.2	3.1	2.1	11.5	11.5
2017年12月	73	59.3	11.9	10.1	2.2	4.5	4.7	5.0	7.1	4.2	

## 4. 暮らし向き予想

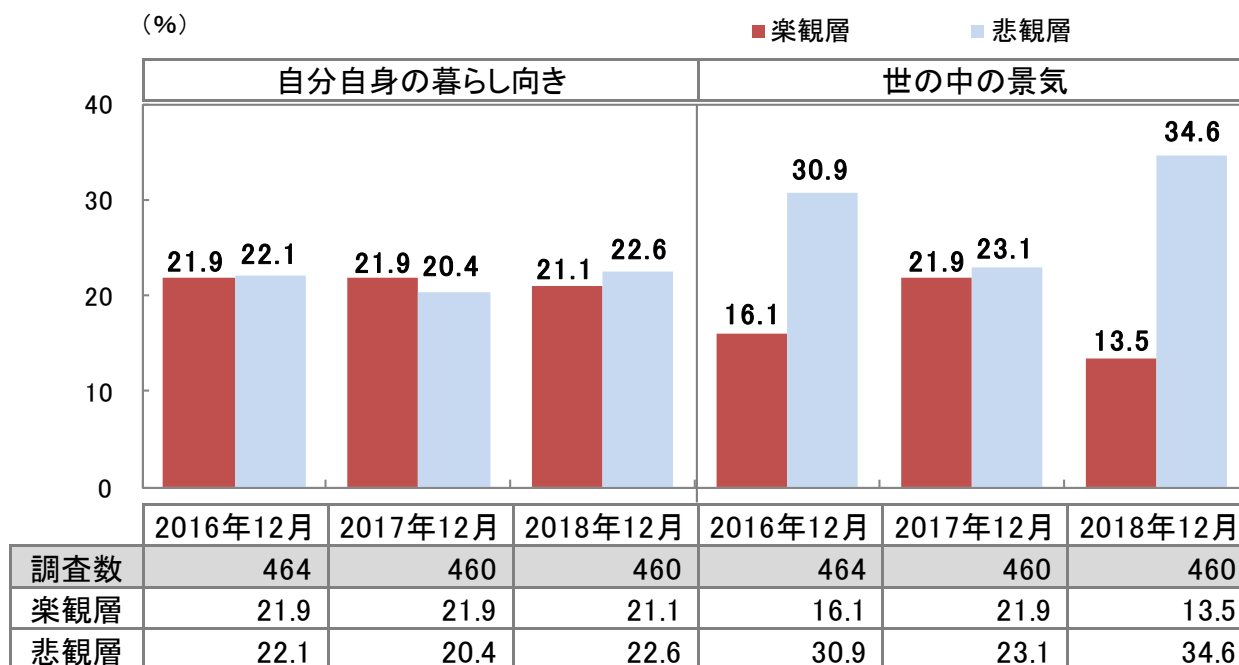
自分自身の暮らし向き予想は前回調査から変化はないが、世の中の景気予想は悲観的な傾向が大きく強まる。

2019年の『自分自身の暮らし向き』について、「良くなる」「どちらかというと良くなる」と回答した楽観層の割合は21.1%、「悪くなる」「どちらかというと悪くなる」と回答した悲観層の割合は22.6%であり差はない。前回調査と比べて大きな変化はなかった。

また、2019年の『世の中の景気』については、楽観層の割合は13.5%、非楽観層の割合は34.6%となっており、前回調査と比べて悲観層が増加した。

- ・性別や世帯年収別では、大きな差は見られない。
- ・年代別で見ると、自分自身の暮らし向きについて、20代と30代は楽観層の割合が、世の中の景気について、60代以上は悲観層の割合が他の年代と比べて高い。

◆2019年の暮らし向き予想【単一回答】  
\* 楽観層と悲観層抜粋



\* 楽観層＝「良くなる」+「どちらかというと良くなる」、悲観層＝「悪くなる」+「どちらかというと悪くなる」

◆2019年の自分自身の暮らし向き予想【単一回答】

◆2019年の世の中の景気予想【単一回答】

		調査数	【%】				楽観層	悲観層	
			良くなる	どちらかという と良くなる	どちらかとい えない	悪くなる			
全体		460	3.7	17.4	56.3	18.0	4.6	21.1	22.6
性別	男性	218	3.2	16.1	57.8	18.3	4.6	19.3	22.9
	女性	242	4.1	18.6	55.0	17.8	4.5	22.7	22.3
年代別	20代	60	5.0	26.7	48.3	18.3	1.7	31.7	20.0
	30代	100	3.0	33.0	51.0	10.0	3.0	36.0	13.0
	40代	100	6.0	12.0	57.0	20.0	5.0	18.0	25.0
	50代	100	5.0	13.0	58.0	16.0	8.0	18.0	24.0
	60代以上	100	0.0	6.0	64.0	26.0	4.0	6.0	30.0
世帯年収別	300万円未満	80	2.5	13.8	56.3	18.8	8.8	16.3	27.5
	300～500万円未満	134	3.0	20.9	53.0	17.2	6.0	23.9	23.1
	500～700万円未満	77	6.5	22.1	42.9	24.7	3.9	28.6	28.6
	700～900万円未満	59	1.7	20.3	59.3	15.3	3.4	22.0	18.6
	900万円以上	48	6.3	10.4	68.8	12.5	2.1	16.7	14.6

		調査数	【%】				楽観層	悲観層	
			良くなる	どちらかという と良くなる	どちらかとい えない	悪くなる			
全体		460	0.7	12.8	52.0	29.6	5.0	13.5	34.6
性別	男性	218	0.5	14.7	47.2	30.7	6.9	15.1	37.6
	女性	242	0.8	11.2	56.2	28.5	3.3	12.0	31.8
年代別	20代	60	0.0	16.7	55.0	25.0	3.3	16.7	28.3
	30代	100	0.0	17.0	61.0	15.0	7.0	17.0	22.0
	40代	100	2.0	11.0	58.0	25.0	4.0	13.0	29.0
	50代	100	1.0	11.0	48.0	34.0	6.0	12.0	40.0
	60代以上	100	0.0	10.0	39.0	47.0	4.0	10.0	51.0
世帯年収別	300万円未満	80	1.3	13.8	46.3	30.0	8.8	15.0	38.8
	300～500万円未満	134	0.0	13.4	48.5	31.3	6.7	13.4	38.1
	500～700万円未満	77	2.6	11.7	51.9	29.9	3.9	14.3	33.8
	700～900万円未満	59	0.0	13.6	57.6	25.4	3.4	13.6	28.8
	900万円以上	48	0.0	12.5	54.2	31.3	2.1	12.5	33.3

\*楽観層＝「良くなる」+「どちらかというと良くなる」、悲観層＝「悪くなる」+「どちらかというと悪くなる」

## 5. お金をかけたいこと・節約したいこと

「旅行」や「運動」などアクティブなことにお金をかけたい傾向が高い。

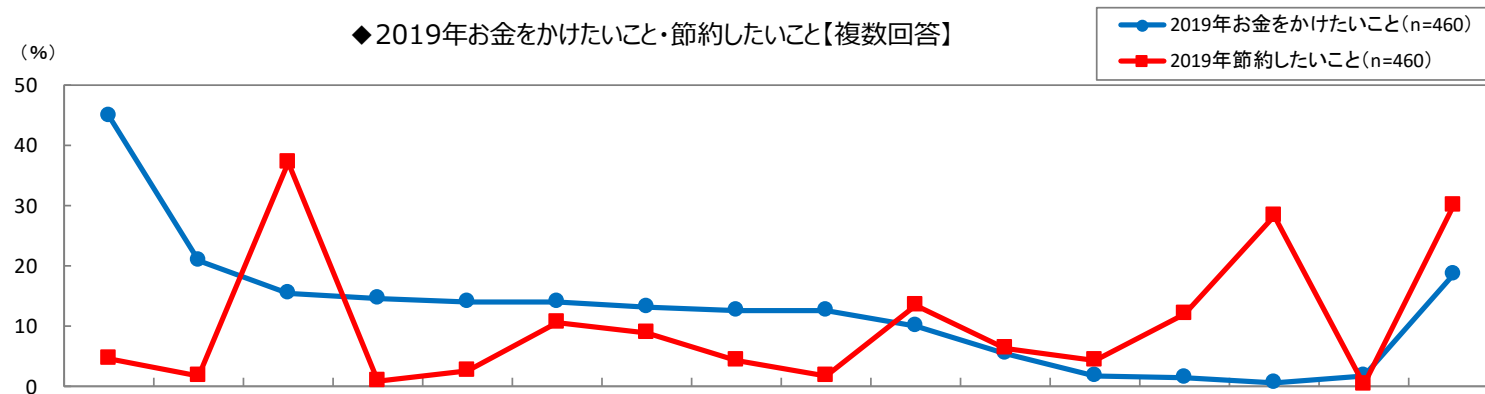
また、「外食」や「ファッション」は、お金をかけたい層は一定いるものの、節約したい層が上回る。

2019年に『お金をかけたいこと』について、「旅行・レジャー」の割合が44.8%で顕著に高く、次いで「運動・スポーツ」20.7%、「外食」15.4%の順であった。

2019年に『節約したいこと』について、「外食」の割合が37.2%で最も高く、次いで「通信費」28.3%、「ファッション」13.3%の順であった。

- ・性別で見ると、お金をかけたいことについて、男性は女性と比べて「運動・スポーツ」、女性は男性と比べて「美容・ダイエット」の割合が高い。
- ・年代別で見ると、お金をかけたいことについて、20代は「美容・ダイエット」「ファッション」、30代は「子どもの教育」、60代以上は「旅行・レジャー」の割合が他の年代と比べて高い。また、節約したいことについて、20代は「外食」の割合が他の年代と比べて高い。
- ・世帯年収別で見ると、お金をかけたいことについて、900万円以上の層は「旅行・レジャー」「運動・スポーツ」「友人・知人との交際費」「習いごと」の割合が他の層に比べて高い。

◆2019年お金をかけたいこと・節約したいこと【複数回答】



調査数	旅行・レジャー	運動・スポーツ	外食	子どもの教育	ブ・コン イベント、ライ	費 友人・知人との交際	健康・医療	美容・ダイエット	習いごと	ファッション	ビジネス上の交際費	住宅の賃料	各種保険料	通信費	その他	特になし
2019年お金をかけたいこと	460	44.8	20.7	15.4	14.3	13.9	13.0	12.6	12.6	10.0	5.4	1.7	1.3	0.4	1.7	18.5
2019年節約したいこと	460	4.3	1.7	37.2	0.7	2.4	10.4	8.7	4.1	13.3	6.3	4.1	12.0	28.3	0.2	30.0



◆2019年お金をかけたこと・節約したいこと【複数回答】

		調査数	旅行・レジャー	運動・スポーツ	外食	子どもの教育	コンサート、ライブ、イベント	友人・知人との交際費	健康・医療	美容・ダイエット	習いごと	ファッション	ビジネス上の交際費	住宅の賃料	各種保険料	通信費	その他	特になし	【%】
全体		460	44.8	20.7	15.4	14.3	13.9	13.9	13.0	12.6	12.6	10.0	5.4	1.7	1.3	0.4	1.7	18.5	
性別	男性	218	43.6	28.0	17.0	10.1	11.9	14.7	11.9	3.7	10.1	6.4	5.5	2.8	2.3	0.9	2.3	22.9	
	女性	242	45.9	14.0	14.0	18.2	15.7	13.2	14.0	20.7	14.9	13.2	5.4	0.8	0.4	0.0	1.2	14.5	
年代別	20代	60	33.3	15.0	16.7	18.3	18.3	20.0	6.7	25.0	6.7	21.7	6.7	3.3	1.7	0.0	1.7	15.0	
	30代	100	44.0	15.0	12.0	27.0	8.0	13.0	11.0	15.0	13.0	9.0	2.0	2.0	2.0	0.0	0.0	19.0	
	40代	100	38.0	16.0	19.0	21.0	12.0	13.0	7.0	13.0	11.0	5.0	8.0	3.0	1.0	1.0	2.0	19.0	
	50代	100	46.0	30.0	11.0	7.0	19.0	13.0	16.0	9.0	17.0	11.0	6.0	1.0	2.0	0.0	2.0	17.0	
	60代以上	100	58.0	25.0	19.0	0.0	14.0	13.0	22.0	6.0	13.0	8.0	5.0	0.0	0.0	1.0	3.0	21.0	
世帯年収別	300万円未満	80	48.8	18.8	12.5	6.3	12.5	15.0	13.8	13.8	12.5	8.8	2.5	1.3	0.0	0.0	3.8	21.3	
	300～500万円未満	134	40.3	17.9	11.9	16.4	12.7	6.0	11.2	9.7	9.7	8.2	5.2	1.5	1.5	0.7	2.2	21.6	
	500～700万円未満	77	48.1	19.5	14.3	20.8	10.4	16.9	18.2	16.9	18.2	11.7	7.8	2.6	1.3	0.0	0.0	9.1	
	700～900万円未満	59	42.4	22.0	22.0	15.3	18.6	15.3	13.6	13.6	5.1	6.8	8.5	3.4	1.7	1.7	1.7	15.3	
900万円以上	48	64.6	35.4	20.8	18.8	18.8	29.2	12.5	18.8	25.0	18.8	10.4	2.1	4.2	0.0	2.1	6.3		

全体		460	4.3	1.7	37.2	0.7	2.4	10.4	8.7	4.1	1.5	13.3	6.3	4.1	12.0	28.3	0.2	30.0
性別	男性	218	2.8	1.4	33.0	0.9	1.4	10.6	8.7	2.3	0.5	8.3	7.8	2.3	10.1	25.2	0.0	35.3
	女性	242	5.8	2.1	40.9	0.4	3.3	10.3	8.7	5.8	2.5	17.8	5.0	5.8	13.6	31.0	0.4	25.2
年代別	20代	60	5.0	1.7	55.0	0.0	0.0	6.7	5.0	1.7	3.3	6.7	6.7	8.3	15.0	36.7	0.0	18.3
	30代	100	3.0	3.0	41.0	0.0	3.0	11.0	8.0	5.0	3.0	11.0	7.0	6.0	13.0	30.0	0.0	30.0
	40代	100	3.0	2.0	33.0	2.0	3.0	10.0	10.0	4.0	0.0	12.0	7.0	3.0	11.0	24.0	0.0	34.0
	50代	100	3.0	0.0	31.0	1.0	2.0	10.0	7.0	5.0	1.0	12.0	8.0	4.0	12.0	34.0	1.0	30.0
	60代以上	100	8.0	2.0	33.0	0.0	3.0	13.0	12.0	4.0	1.0	22.0	3.0	1.0	10.0	20.0	0.0	33.0
世帯年収別	300万円未満	80	3.8	0.0	36.3	0.0	5.0	17.5	10.0	2.5	1.3	18.8	6.3	3.8	11.3	33.8	0.0	22.5
	300～500万円未満	134	4.5	2.2	44.0	0.0	1.5	9.7	8.2	3.0	1.5	11.2	6.0	5.2	12.7	27.6	0.0	30.6
	500～700万円未満	77	3.9	1.3	41.6	2.6	2.6	9.1	7.8	3.9	2.6	14.3	7.8	5.2	13.0	35.1	1.3	16.9
	700～900万円未満	59	3.4	0.0	23.7	1.7	1.7	15.3	11.9	1.7	0.0	11.9	5.1	1.7	11.9	18.6	0.0	35.6
900万円以上	48	4.2	2.1	35.4	0.0	0.0	6.3	10.4	10.4	2.1	18.8	10.4	2.1	8.3	35.4	0.0	37.5	

2019年お金をかけたこと

2019年節約したいこと

発行元：株式会社ジーコム

福岡市中央区天神4丁目1-1 第7明星ビル7F

TEL 092-761-0221

FAX 092-761-0228

URL：<http://www.gcom-net.co.jp/>

E-mail：[inq@gcom-net.co.jp](mailto:inq@gcom-net.co.jp)